生徒に見られるつまずき

　場面の展開をとらえながら、文章全体のつながりを考えることができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　登場人物の行為の意味について、根拠を示しながら考えを書かせたり、それを交流したりすることで、文章描写から想像力をはたらかせて、文章全体のつながりをとらえることができるようにする。

指導事例集ｐ．４９

１　学年・単元名　　第２学年　描写を味わう

『走れメロス』（読むこと）

２　単元目標

場面の展開をとらえながら、文章全体のつながりを考えること。

資料：活動の様子

３　単元の内容

・全文を通読し、感じたことや考えたこと、気になった一文など、初発の感想をノートに書き、その後、意見交流をする。

・冒頭からメロスが王城を出発するまでの場面から、メロスと王の人物像をとらえる。

資料：生徒のノート①

　　・場面の様子を書き出した表現の工夫に着目し、メロスの

考え方の変化をとらえる。

資料：生徒のノート②③

・再び走り始めたメロスの様子をとらえ、走り続けることの

意味について考える。

・メロスとセリヌンティウスの再会の場面で、展開や表現の仕方にどのような工夫がされているかを考える。

４　本時の目標

再び走り始めたメロスの様子をとらえ、走り続けることの意味について考える。

５　本時の展開　**太字はつまずきに対する手立て**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 生徒の活動 | 指導上の留意点 |
| 導　　入 | １ 前時の学習を振り返る。  ２「王城に向けて走り出す場面～疲れて  立ち上げれなくなる場面」を全員で音  読する。  ３　本時の学習目標を確認し、学習の見  通しを持つ。  ◎本時の目標  　再び走り始めたメロスの様子をとらえ、走り続けることの意味について考える。 | ※座席は２人１組、つけた状態させておく。発表も座ったままで行わせる。  ○多少速いくらいのペースで、声を揃えて  読むように指示する。  ○本時の学習目標を確認させ、ノートに書か  せる。 |
|  | ４「再び立ち上がって刑場に突入するまでの場面」を読む。  ①範読で最後までを読む  ②ペアで最後までを読む | ○「再び立ち上がって形状に突入する場面」からメロスが走り続けることの意味について考えさせる。  ○範読、個人、ペア、全体、指名読等、さまざまな形での音読を繰り返し取り入れる。（１授業の中で１０分程度は音読させる。） |
|  | ③全体で「今はただその一事だ。走れ！メロス。」までを読む。  　④全体で「清水が湧き出しているのである。」までを読む。  　⑤さらに④の箇所を読む。    ５　発問１について考える。  発問１  「こんこんと、何か小さくささやきながら清水が湧き出ている」とは、どのような様子を説明しているか。    ①ノートに５行程度、考えたことを書  く。  資料：活動の様子  　②ペアで交流する。  ③全体で意見を交流する。 | ○指示はリズムよく、間髪入れずに出すようにする。  ○発問につながる重要な部分を繰り返し音  読させることで、考える視点を与える。  ○この部分はどの様子を説明しているのか、  ノートに３行から５行程度で書かせる。  資料：生徒のノート②③、生徒の評価資料  ○「何か小さくささやきながら」の擬人法の効果についても考えさせる。 |
|  | ６「私は信頼されている〜間に合った」  を音読する。   1. 個人で 2. ペアで 3. 全体で 4. 全体で「やめてください。」～ 5. 全体で「それだから、走るのだ。」   ～を音読する。 | **○文章を繰り返し音読させ、文章描写から想像力をはたらかせて自分の考えを持たせやすくする。** |
| 展　　開 | ７　発問２について考える。  発問２  　　再び走り始めたメロスは何のために走っているのだろうか。  　①ノートに５行程度、考えたことを書  く。  資料：活動の様子  資料：生徒のノート②③、  生徒のノートまとめ | ○「メロスは何のために走っているのか」な　ど、メロスの行為の意味を「何のために」と問うことで、根拠に基づいて説明する必要性を持たせる。  **○各場面の登場人物の行動とその際の心情**  **を比較させ、場面ごとの変化やつながりを**  **意識させながら、自分の考えを描くように**  **指示する。**  **（つまずき解消に向けた指導の工夫①）** |
| 展　開 | ②ペアで交流する。  ③全体で意見を交流する。 | ○座席表に生徒一人一人の読み取りの状況  をメモして、指名発表に生かす。  ○個々の生徒の読みを学級全体へと広げて  いき、さらに思考を深める。（意図的指名）  ○「自分の根拠と理由が合っているか」「場  面ごとの変化やつながりに基づいている  か」など、交流する際の視点を示すように  する。  **○各自の考えを聞き取り、ノートにメモさせ**  **る。**  **（つまずき解消に向けた指導の工夫②）** |
| まとめ | ８「再び立ち上がって刑場に突入するま  での場面」を音読し、本時の学習の振  り返りをする。  （ノート貼付のワークシートに） | ○「学習計画表」の「今日の学び」欄に記入  させる。  資料：学習計画表  ※計画表を授業の最初に配布し、ノートに貼  り、授業の全体像をつかませておく。 |